

令和4年度 第1回 『環瀬戸内海地域交流促進協議会』を開催 ～本州・四国交流人口 H25 比 1,000 万人増 再チャレンジ～

- 本協議会は、瀬戸内周辺の経済界や自治体、高速会社、国が環瀬戸内海地域の交流促進を目指す会議。
- 第1回協議会では令和3年度第1回協議会（R3.10.8）で決定した新たな目標※に向け、各団体が昨年度の取組結果及び今年度の取組予定を発表。

※令和3年度第1回協議会で決定した新たな目標

➤ 短期目標

コロナからの「観光需要の復興」を目指し令和4年度までに令和元年度の交流状況(6,110万人)以上に復興させる。

➤ 中期目標

現行料金水準期限の5年後で、かつ瀬戸中央道開通40周年、神戸淡路鳴門道全通30周年が重なる令和10年度を目標年次とし、交流人口H25比1,000万人増を目指し『再チャレンジ』。また、目標に相当する本四高速の日平均交通量61,000台/日を併せ目標とする。

- ◇ コロナ禍以降初となる移動制限のないゴールデンウィークにおける本四・中四国内道路の交通状況等の分析も本協議会で公表。

記

1. 日 時：令和4年8月5日（金） 13:30 ～ 15:30
2. 場 所：高松サンポート合同庁舎 北館13階 1306・1307会議室
（香川県高松市サンポート 3番33号）
3. 協議会会長：佐伯 ^{さえき} ^{はやと} 勇人（四国経済連合会会長、四国電力（株）取締役会長）

<同時発表先>

高松サンポート記者クラブ／徳島県政記者クラブ／愛媛番町記者クラブ／高知県政記者クラブ／兵庫県政記者クラブ／合同庁舎記者クラブ（広島）／岡山県政記者クラブ／広島県政記者クラブ／中国地方建設記者クラブ

< 問い合わせ先 >

◎ 国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路計画課長 山岡 敏之（やまおか としゆき）
電話（087）811-8322（直通）（内線）4211
四国経済連合会 企画調査部長 松野 清孝（まつの きよたか）
電話（087）851-6032（代表）

◎主な問い合わせ先

令和4年度 第1回 環瀬戸内海地域交流促進協議会

日時：令和4年8月5日（金）13:30～15:30
場所：サンポート合同庁舎北館13階 1306・1307

議事次第

1. 開 会

2. 議 事

- (1) 設置要綱の改定について 資料1
- (2) 令和3年度 協議会のふり返り 資料2
- (3) 新たな目標の達成に向けた各団体の取組状況 資料3
- (4) 本四・中四国内道路の交通状況 資料4

3. 閉 会

環瀬戸内海地域交流促進協議会

四国経済連合会	会	長（協議会会長）
〃		観光振興委員会委員長
〃		産業振興委員会委員長
（一社）中国経済連合会	会	長
兵 庫 県	副	知 事
岡 山 県	副	知 事
広 島 県	副	知 事
徳 島 県	副	知 事
香 川 県	副	知 事
愛 媛 県	副	知 事
高 知 県	副	知 事
四国運輸局	局	長
中国地方整備局	局	長
四国地方整備局	局	長
本州四国連絡高速道路(株)	代表取締役	社長
西日本高速道路(株)中国支社	支 社	長
西日本高速道路(株)四国支社	支 社	長

環瀬戸内海地域交流促進協議会

設立趣旨

平成26年度から本四高速料金が全国共通料金制度へと移行することは、環瀬戸内海地域が長年にわたり懸案としてきた全国との高速料金格差の是正が、いよいよ本格的に実現することを意味し、当地域のさらなる活性化に向け、交流を促進する環境が大きく前進したと言える。

また、平成26年は、「世界の宝石」とも称される瀬戸内海国立公園が、我が国最初の国立公園の一つとして昭和9年（1934年）に指定されて80周年、弘法大師空海が四国八十八ヶ所霊場を開創した弘仁6年（815年）から1200年という大きな節目の年でもある。

こうしたことから、これらを契機に「平成26年は環瀬戸内海経済文化交流圏形成元年」との認識の下、四国及び本州の瀬戸内海周辺地域の経済界、自治体等の関係者が一体となって様々な分野での交流を促進し、経済、生活、文化の一層の発展、向上を図ることを目的に本協議会を設立する。

本協議会の取組【今回は昨年度の取組結果及び今年度の取組予定を発表】



情報発信

- 観光地名称を表示した標識
⇒直轄国道以外に拡大
- 案内の多言語化
⇒英語表記の適正化
- 高速道路ナンバリング等
⇒印刷物への記載促進
- 自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報
- 情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ
- 四国八十八景のプロモーション
- 本四高速の新たな料金の広報
- SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信



観光連携

- 環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興
⇒サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
⇒サッカー公式試合での交流促進
- 瀬戸内海の「海」の魅力の発信
⇒本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組みを構築)
⇒瀬戸内海国立公園ウォーク
- 観光地における渋滞緩和
⇒観光地における渋滞対策の検討・対策実施
- 利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定
⇒観光地までのルート、所要時間を案内
- 2次交通の改善、M a a S
- 周遊を支援する事業の実施
⇒県独自の取組み



産業連携

- 物流機能の強化
⇒高規格ネットワークの拡充
⇒SA・PAの大型駐車マスの拡充
- 産業基盤の整備
⇒工業団地等の整備
⇒地域活性化IC、スマートICの整備
⇒県による誘致補助制度の創設等
- ワークーション、サテライトオフィス等の取組



生活、文化等

- 環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化
⇒歴史的遺産のネットワーク構築とPR
⇒文化芸術ネットワークの推進
- 環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承
⇒食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR)を追加



その他

- 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組
⇒観光客の実態調査
⇒トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化
⇒道の駅での相互連携
- 「道の駅」施設管理における見える化
⇒情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組
- 道路ネットワーク整備

第1回環瀬戸内海地域交流促進協議会で提示予定資料の一例

取組事例



えひめ南予きずな博

R3年度 体制等整備フェーズ

R4年度 プロモーションフェーズ
【地域の元気応援事業】
 ・オープニング
 ・連携イベント（市町ほか）
 ・クロージング

R5年度 持続可能な「いやしの南予」の確立

●R4ゴールデンウィーク期間中の 主要観光地入込客数



取組連携により更なる交流人口促進が拡大

えひめ南予きずな博ドライブパス

●周遊エリア

対象：ETC利用の軽自動車等
（二輪車を含む）、普通車

プラン：愛媛県南予エリア（川内IC以西）が定額料金で乗り放題となる関西・中国・四国を発着エリアとする割引プラン



高知観光キャンペーン「リョーマの休日」

Roman（ロマン）
歴史や自然から土佐のパワーを感じる



Oishii（おいしい）
絶対の自信！土佐の幸を食べつくす



Yasuragi（やすらぎ）
自然の優しさが癒しの時間をくれる



Manabi（学び）
世界が認めた自然遺産・文化に学ぶ



●GWにおける高知県立のいち動物公園利用状況



Active（アクティブ）
土佐の自然と全身でたわむれる



傍聴を希望される報道関係者の方へ

- 会議方式は対面(一部WEB併用)方式を予定しておりますが、新型コロナウイルスの感染状況等により変更となる場合があります。
- 取材を希望する報道機関の方は前日までに別紙によりお申し込みください。
- テレビカメラ等による撮影は冒頭のみ(議題が始まるまで)とし、審議中は傍聴取材(着席)となります。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、入室時の手指消毒および検温にご協力をお願いいたします。

「令和4年度第1回『環瀬戸内海地域交流促進協議会』の開催について」
冒頭カメラ撮り・取材申込書

申込（送信）先：四国地方整備局道路部道路計画課宛て

FAX 番号：087-811-8421

E-mail：skr-dourokeikaku@mlit.go.jp

※FAX・メールいずれの場合も申込書送信後に下記の電話番号におかけの上、
送信された旨お伝え下さい。

※メールによる申込に際して、申込書の電子データが必要な場合は下記の電話
番号におかけの上、お問合せください。

TEL：087-811-8322（直通）

ふりがな ※必須	
お名前 ※必須	
ご所属（会社名） ※必須	
ご連絡先（TEL） ※必須	
ご連絡先（メールアドレス） ※任意	

※新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、入室時の手指消毒
および検温にご協力をお願いいたします